

閉会式典



大会決議文採択	宮城県肢連幹事	瀧澤 琴子
開催地謝辞	宮城県肢連副会長	金子 武次郎
次期開催県挨拶	全国 沖縄県肢連会長	新里 吉弘
	東北地区 福島県肢連会長	照山 成信
大会終了宣言	全肢連副会長	大野 博澄



開催地謝辞

宮城県肢体不自由児者父母の会連合会

副会長 金子 武次郎

全国大会閉会にあたり、宮城県肢連を代表して、一言御礼の挨拶を述べさせていただきます。平成24年9月8日、9日の両日にわたり、第45回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会、並びに第32回東北地区全国肢体不自由児者父母の会連合会宮城大会を無事滞りなく成功裏に開催できましたことを全国の会員とともに喜びたいと思います。この大会開催の成功は、ひとえに、遠く中国、韓国から参加していただいたご来賓、国、宮城県、仙台市よりのご来賓はもとより、全国から参加いただいた多数の本会の会員のお蔭であります。改めて宮城県肢連として感謝の意を表したいと思います。有難う御座いました。

昨年3月11日の東日本大震災の発生は、大災害に際して障害者の生命を如何にして守るかの課題を真剣に考えなければならないことを提起しました。この課題に関しまして、本大会では、今後予想される巨大地震に備え、障害者・高齢者などいわゆる災害弱者を守るために、社会全体として自助、共助、公助の体制を如何に整備すべきかを、本会会員のみだけでなく一般市民にも開放された市民フォーラムをとしてのパネルディスカッションを行い、今後の父母の会の活動はどうあるべきかについて貴重な知見を得ることが出来ました。この討論の成果を全国に持ち帰り、将来予想される大災害に対して如何にして障害者を守るか、父母の会の重要な課題としてその対策を検討されるようお願いいたします。

本第45回全国大会は、東日本大震災の発生のため生じた突然の開催地変更によって本県で行われました。そのための準備不足による不行き届きなどにより大会ご参加の会員皆様には、ご不便をお掛けしたことが多々あるのではないかと危惧しております。これも震災の主な被災地である宮城県において急遽開催されたという事情を斟酌されて、よろしくご容赦の程をお願い申し上げます。

最後に父母の会の益々の発展を祈念いたしまして、御礼の挨拶とさせていただきます。ご参加の会員の皆様、有難う御座いました。



次期全国大会開催県挨拶

沖縄県肢体不自由児者父母の会連合会
会長 新里 吉弘

みなさまこんにちは！

昨日から本日までの2日間にわたる宮城大会は、去る東日本大震災による被災にもめげず、復興への情熱を皆様方が発揮なされた大会であったと思います。

さて、来年度の全国大会は、沖縄県におきまして第46回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会兼第29回九州ブロック肢体不自由児者父母の会沖縄大会を10月26日～27日の2日間那覇市内のパシフィックホテルを主会場に開催する予定で着々と準備を進めているところであります。

本大会では沖縄県の障害福祉の取組状況を皆様に紹介し、共に考え行動する大会になればと思います。

また開催時期は台風シーズンとも重なりますが、台風襲来の少ない10月下旬に開催することに致しました。

さて、沖縄県はすでにご承知のとおり全国で唯一の亜熱帯に属し温暖な気候に恵まれ、青い空と珊瑚礁が織りなすコバルトブルーの海があります。併せてこの機会に沖縄独特の食文化と芸能、風土に触れて頂きたいと思います。沖縄県連一同が全国の皆様のお越しをお待ちしております。めんそ〜れ沖縄へ！



次期東北地区大会開催県挨拶

福島県手をつなぐ親の会連合会

会長 照山 成信

皆さんこんにちは、

東日本大震災の被災地である東北・宮城県にこのように大勢の皆さんのご参加を頂き全国大会を開催できましたことは大きな喜びとするところでございます。

挨拶に先立ち、宮城県肢連岩崎会長さんをはじめ実行委員の皆様、御礼のことばを申し上げます

本来ならば、この第45回全国大会宮城大会は福島県で開催する予定でした。しかし、現在の福島県は大震災並びに、原子力発電所爆発事故により、未だ多くの方々が自宅にはもちろんのこと、住み慣れた地域に入ることも許されず、元の生活にいつ戻れるのか分からない先の見えない状況が続いており、非常に不安な日々を過ごしています。

このような福島県の状況にご理解を示され、万難を排し本大会を準備され、このような大成功に導かれました、宮城県肢連の皆さん・岩崎会長さん実行委員の皆さんに対し、福島県の会員を代表して心からの御礼を申し上げます、誠に有難うございました。

次に、この度の被災に対し、全国の会員の皆さんから、物心両面にわたるご支援を頂き有難うございました。またこの大会でも多くの方々から励ましのお言葉を頂き、福島県復興のため頑張っていくと、決意を新たにいたしました。

来年平成25年10月19日、20日に福島市の飯坂温泉「ホテル聚楽」にて、第33回東北ブロック大会を開催致します。

私たち福島県では今年度から大会の在り方を、本人中心の大会にし、「共生社会」実現の具体的行動に入りましたまた、10パーセント会員拡大を果たし皆さんをお迎えする事に致しました。

みんなで力を合わせ内容の充実した大会にしたいと考えていますので、一人でも多くの皆様のお越しをお待ち申し上げます。



大会終了宣言

一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会
副会長 大野 博 澄

第45回全国大会並びに第32回東北地区全国肢体不自由児者父母の会連合会宮城大会が、東日本大震災の被災地である東北・宮城県でこのように多くの仲間が集い成功裏に終了することができました。

これはひとえに、東北の皆様の震災に負けないという強い意志と、岩崎会長を中心に宮城県肢連の会員の皆様の団結と努力の賜と思います。ありがとうございました。

初日のバリアフリー落語では大いに笑い、日頃の疲れも吹き飛びましたし、パネルディスカッションでは障害福祉施策の現状と課題を踏まえ、今後、私たちが行っていくべき活動について考えさせられました。

二日目のパネルディスカッションでは、東日本大震災での震災直後の避難や支援、その後の生活について体験した方でしか語れない貴重なお話を伺いました。

私たちには災害時に支援を必要とする大切な家族がいます。緊急時にいかに守るのか、その後の避難生活を含め考えておかなければなりません。

そして改めて、日頃の人間関係の大切さ、仲間との絆の尊さに気づかされた気がいたします。

私たちは東北の仲間たちが一日も早く、元の生活に戻れるようにこれからも応援してまいります。

最後に改めて宮城県肢連の皆様のご苦勞に感謝申し上げます。また、ご参会の皆様のご健勝を祈念申し上げ、大会の終了を宣言いたします。